

00:13

「自立しながら勉強できる」「学校で教わったことがわかっていればできる」「一人前の技術屋さんになりたいな」

N 東京駅構内の電気設備を管理する

ジェイアール東日本ビルテック株式会社にも

東京都立職業能力開発センターの修了生がいます。

平成21年度修了の佐竹聖子さんです。

00:29

(職業能力開発センターに応募したきっかけ)

父親が電気工事系の仕事をしております、電気の方も興味があったので、人生一度きりなので、一回はやってみたいと思うことをやってみようと一大決心をして電気の方に進んでみました。

はじめのうちは何もわからなかったんですが、夏休み以降くらいに、教えてもらってきたことが、一つひとつパズルみたいに繋がってきて。

毎日が驚きと発見と…一緒に「私にできるかな」という不安を毎回持ちながらも一つひとつ課題を乗り越えていって、「できた」ときの達成感も感じていました。

01:11

N 佐竹さんが以前従事していたのは介護の仕事。

1年の職業訓練を経て、

東京駅構内で働く現在の仕事を希望しました。

01:29

(現在の仕事を選んだ理由)

駅は誰もが知っているのですが、駅の中で働くということに、誇りに感じるだろうなと思って、こちらの会社を選びました。

駅の設備を維持管理しているので、電気工事というよりはかなり大きな電気を扱ったりしているんですけども、やはり電気の基礎知識的なものは、電気工事の知識と全く変わらないことが多々ありますので、一年間で勉強したことを生かしながら、わからないところは、先輩方にすぐに聞いたり確認しながら仕事をしているのです、色々な意味で勉強したことが身についていると思います。

02:14

N

協力会社への依頼やテナントへの対応の時、

電気工事科で学んだ知識を生かしているという佐竹さん。

会社での評価は…

02:24

(ON) 彼女の一番良い所は、何事にも積極的で、明るい

ところです。職場の雰囲気明るくしてくれる社

員です。職業能力開発センターで学んだ知識や技術あるいは国家試験に受かって得た資格、それが100%職場の中で役立つかというところではありません。ただ、足りないところは自ら学んで成果を出している。これは素晴らしいと思います。

02:54 N 上司からの信頼も厚い佐竹さん。

将来に向けどのような目標を持っているのでしょうか？

03:04 (ON) 早く先輩たちの技術を身につけて、立派に一人前になって良い技術屋さんになることです。

全く電気の知識がない方であっても、女性であっても、活躍できる仕事だと思います。職業能力開発センターに入学して、色々な経験をした上に、優しい、素晴らしい先生もたくさんいらっしゃるのです、何事も「やってみたい」とか「できる」という気持ちを持ってチャレンジしてもらえば、こういう道も切り開けるかなと思います。

03:51 END